施工される方へのお願い：必ず本書をお施主様へお渡しください。

201502

クロゼットシステム
[ウォールゼットノエル3] 取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI 南海プライウッド株式会社
本社　〒760-0067　香川県高松市松福町1-15-10

北海道・東北営業グループ	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
関東甲信越営業グループ	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
首都圏営業グループ	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
中部営業グループ	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
近畿営業グループ	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
中四国営業グループ	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
九州営業グループ	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669
新規需要開拓グループ	TEL(087)825-3631	FAX(087)825-3659

■ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず取り扱いを行なった場合については、当社での保証は致しかねますのでご注意ください。
■お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害（※1）を負うことが想定されるか、物的損害（※2）の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

（※1）傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。
（※2）物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

「してはいけない」を示します。

「必ず行なっていただくこと」を示します。

⚠注意

● **製品の上には乗らない。**
棚板の落下などにより、ケガをするおそれがあります。

● **ハンガーパイプやフックハンガーにぶらさがらない。**
ハンガーパイプが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。

● **耐荷重の目安を必ず守る。**
棚板やハンガーに過度の重量物を置いたりすると、たわみ・変形が起こり、場合によっては落下してケガをするおそれがあります。
(下記「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

耐荷重の目安値

数値は目安値であり、品質保証値ではありません。

部材名	間口	荷重範囲
天板	1300mm以内	**30kg以内**
棚板	900mm以内	**20kg以内**
フリーカット棚板	最大1300mm	**20kg以内** 必ず固定してご使用ください。
ハンガーパイプ	1300mm以内	**20kg以内**
フックハンガー	1000mm以内	**10kg以内**
スライドハンガー	—	**5kg以内**
フレーム引出し ボックス引出し	600・800mm	**10kg以内** （引出し１段あたり）
バスケット	450mm	**5kg以内** （バスケット１段あたり）
スラックスハンガー シャツトレイ ギャラリーケース	600・800mm	**5kg以内** （１段あたり）
和盆	1000mm	**5kg以内** （引出し１段あたり）

ご使用上のお願い

● **製品に水をかけない。**
本製品に直接水をかけないようにしてください。
表面化粧のはがれや反りの原因となります。

● **粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らない。**
表面に粘着跡が残るおそれがあります。

お手入れ

● **日常のお手入れ方法**
乾いた柔らかい布で乾拭きする。
● **汚れがひどい場合**
中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、堅く絞って拭き取り、よく乾燥させる。

● **換気をする。**
収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

● **油やインクに注意する。**
水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

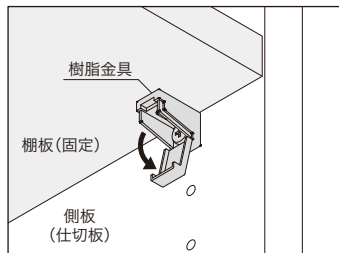
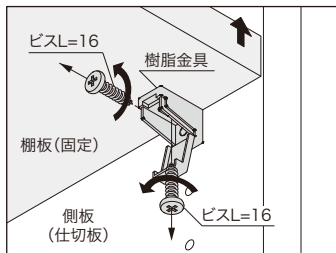
棚板の移動・取り付けについて

棚板は樹脂金具で固定している箇所(固定)と、固定せず設置されている箇所(可動)があります。下記を参照し、移動・取り付けを行なってください。

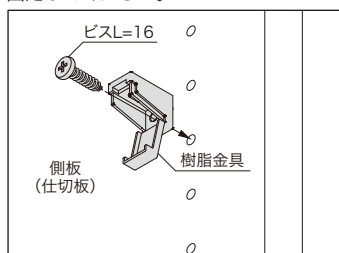
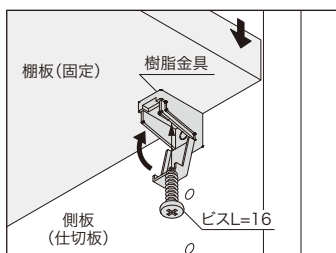
[樹脂金具取り付け箇所](棚板1枚あたり) D3・D4：前後2箇所×左右 D6：前後中央3箇所×左右

棚板(固定)の場合

[棚板の取り外し]

①現在取り付けている棚板下部の樹脂金具のキャップを開けてください。

②ビス L=16 をプラスドライバーで左に回し、棚板を取り外してください。

ご注意 棚板の落下にご注意ください。

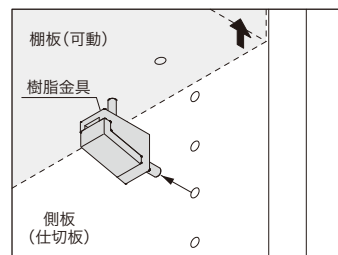
[棚板の取り付け]

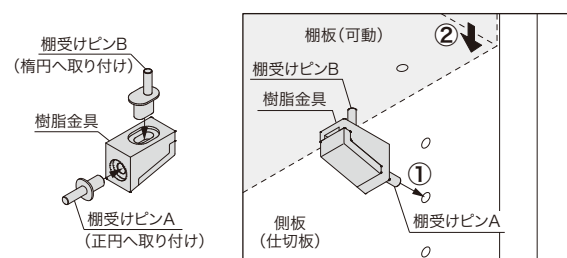
①樹脂金具を棚板を取り付け位置のダボ穴にセットし、ビス L=16 で側板(仕切板)と固定してください。

②樹脂金具と棚板をビス L=16 で固定後、樹脂金具のキャップを閉めてください。

ご注意

- **取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。**
- **樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。**
  側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。
- **ビスL=16の締め過ぎにご注意ください。**
  ビスが空回りすると、保持力が無くなり全体の強度を保てなくなる可能性があります。

棚板(可動)の場合

[棚板の取り外し]

棚板を取り外した後、樹脂金具を取り外してください。

[棚板の取り付け]

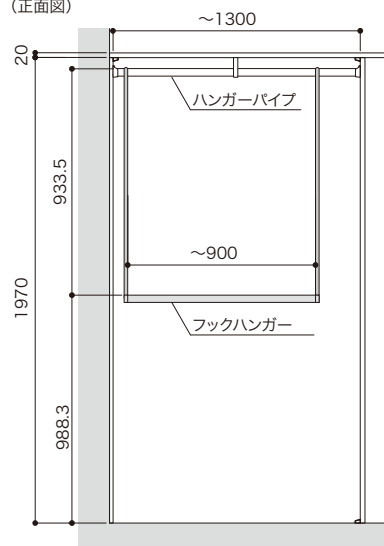
①棚受けピン A 側が側板(仕切板)に当たるように取り付けてください。
②その後、棚板を上からのせて取り付けます。

ご注意

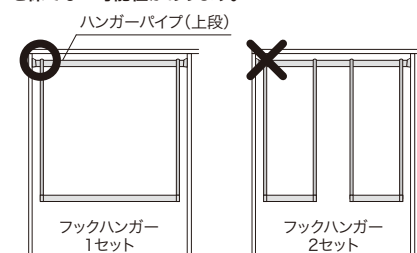
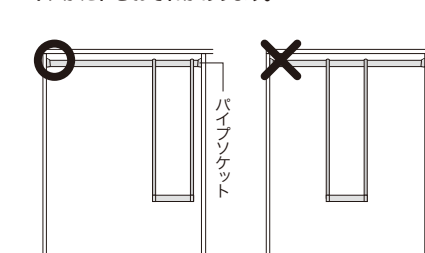
- **棚受けピンBの取り付け向きを間違わないようご注意ください。**
- **取り付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。**
- **樹脂金具は片方の穴が楕円になっています。側板・仕切板には必ず樹脂金具の正円の穴が当たるように固定してください。**

ご注意

棚板(可動)のみの構成は不可です。
必ず1列につき1箇所、中央部の棚板を固定設置してください。

床面から棚板上面まで500〜1200mmの間に必ず1箇所、棚板(固定)を設置してください。
お守りいただけない場合、収納全体の寸法精度および強度が保てない可能性があります。

フックハンガーの設置位置について

ご注意

上段のハンガーパイプ1本に対して1セットのフックハンガーを設置してください。2セット以上を設置すると強度を保てない可能性があります。

幅が狭いフックハンガーの場合、上段のハンガーパイプの端に設置してください。中央に設置すると上段のハンガーパイプがたわむおそれがあります。

荷重が中央に集中しないよう、必ず片側のパイプソケットに近づけてご使用ください。